



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 12月園だより

平成29年11月30日  
園長 新井 智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>



## 子ども時代の根っこを大切に

園長 新井 智子

子どもたちよ  
子ども時代をしっかりとたのしんでください。  
おとなになってから 老人になってから  
あなたを支えてくれるのは  
子ども時代の「あなた」です。

石井桃子

『ノンちゃん雲に乗る』が代表作で、『くまのプーさん』や『ちいさなうさこちゃん』の翻訳で有名な児童文学者の石井桃子氏が、生前開催された自身の個展にメッセージとして寄せた言葉です。子どもたちが、自分自身の根っこの部分を大切に、自分を肯定して生きてほしいという願いが込められています。

晩秋、白金台幼稚園の森は、キラキラとした春夏の頃とは趣が異なり、紅葉し、落葉し、奥深い色彩に包まれています。その園庭で子どもたちの豊かな遊びが展開されています。ある場所では、落ち葉や木の実をつかったごっこ遊び、ある場所では、リレーやボール・縄跳びなどの運動遊び、ある場所では、おイモのスタンプ、ダイナミックな総合的な場が広がることもあります。遊びは、子どもたちによって生まれ、活気づきます。考えたり、つくったり、友達とかかわったり、時にけんかしたり。園庭は小さな社会を形成し、大人の実社会ながらの人間模様を醸し出します。子どもは、何をすることも真剣で一生懸命です。遊ぶこともしゃべること笑うことも泣くことも。人生初の社会生活で「精一杯ありったけの今を生きている」子どもの姿からそう感じます。この根っこになる「ありったけの今」が、これからの人生の大きな力となります。子ども時代の3年間は、大人時代の30年に匹敵するほどではないでしょうか。

12月、年長組の3年間の集大成である「わくわく発表会」があります。子どもたちの「ありったけの今」を積み重ね子ども時代を謳歌してきた形として、創意や表現がのびやかに披露されることを願います。

### 3歳児 秋の落ち葉のシャワー



### 4歳児 親子「樹木のお話」



## <今月の指導のねらい>

### 3歳児

- 自分の思いを言葉や動きに表しながら、友達と同じ場で関って遊んだり、自分の動きを楽しんだりする。
- 学級の友達と簡単なストーリーを動きにしてみたり楽器でリズムを打ったりし、のびのびと表現することを楽しむ。
- 衣服の調節や使った物の片付けなど、生活に必要なことが分かり、自分で取り組む。

### 4歳児

- 自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の話を聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 楽器遊びや劇ごっこなどを通して、自分なりに表現することを楽しむ。
- グループでの当番活動など、自分たちの生活に必要なことに自分から取り組んだり、友達と一緒に取り組んだりする。

### 5歳児

- 発表会に向けて友達と一緒に考えを出し合ったり力を合わせたりしながら活動を進め、やり遂げた達成感や学級としての一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりの目的をもち、挑戦したり繰り返し取り組んだりする。
- お楽しみ会や大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする。



